

産経新聞 令和2年(2020年)8月3日(月)

## 心配な子供たちの心の不調

大学生 勝山実優 21

新型コロナウイルスの感染拡大による休校や外出自粛などの生活で、小学生以上の子供たちがどう過ごしたかについて、国立成育医療研究センターがまとめた調査結果を見た。テレビやスマートフォン、ゲームなどに充てる時間について、7割超が「去年より増えた」と回答。3割近くが「すぐにイライラする」や「最近集中できない」などの心の不調を訴えた。

大好きなゲームがたたくまでできたはずなのに、なぜ

子供たちは心の不調を訴えるのだろうかと思った。

生活習慣が大きく関わっているらしい。生活習慣の乱れや体力低下、家庭内の虐待の増加を指摘する報道もあった。

大阪の府立高に対しては夏休みをお盆の10日間、冬休みを年末年始の7日間程度に短縮する日程が示されている。コロナが収束しても、子供たちへの心身への負担増は、なかなか取り除けないと思う。

(大阪府東大阪市)